

第1回 SSH 講演会

土曜ALに代わり、令和6年度からSSH講演会を行うことになり、第1回目を7月10日(金)に実施しました。生徒の主体的な学習を支援する取組ですが、今回は生徒の探究的な学びや進路選択の一助となるような7つの講演を企画しました。今号では、その様子を紹介します。

- ① 講演名：「アメリカ独立革命を科学する
—独立宣言の比較と関連」
講 師： 静岡大学 名誉教授 岩井 淳 様

- ② 講演名：「ルールの評価について
(架空の条例案をもとに)」
講 師： ぐんま法律事務所
弁護士 草薙 篤 様



講演①の様子



講演②の様子

- ③ 講演名：「アジアを中心とする新興国の
成長と日本企業」
講 師： 群馬県立女子大学 教授 于 蘭鳳 様

- ④ 講演名：「半導体と機械工学・医工学」
講 師： 東北大学工学部 教授 福島 誉史 様



講演③の様子



講演④の様子

- ⑤ 講演名：「建築や空間をデザインするときに
考えていること」
講 師： 前橋工科大学 准教授 石黒 由紀 様

- ⑥ 講演名：「データ漏洩の大規模化やネットワーク
犯罪の高度化データサイエンス入門」
講 師： 群馬大学情報学部
准教授 高木 理様



講演⑤の様子



講演⑥の様子

- ⑦ 講座名：「医療問題勉強会」(キャリアメディカル)
内 容：生徒同士による医療問題の検討

生徒の感想

- ・今まで歴史を知って何かを学ぶということをしてこなかったが今回の講義を通してどのように歴史を使えば、現在に生かすことができるか知ることができた。
- ・弁護士は裁判のときに被告人に寄り添って動いて、冤罪を減らし、適切な判決を下せるように努力するというところに感嘆しました。法律に基づいて、人権がどれほど守られなければならないのか、その考え方を勉強できました。
- ・アジアでは日本企業が多く進出していることがわかった。アフリカではまだ義務教育などが普及していないため、日本企業が多く進出できていないことがわかった。将来はそうした国のために関わられるような仕事につきたいと思った。
- ・機械工学の概要や、その学問によってどのような発明、またそのなかのどの分野が何に役立っているのかということを知ることができた。今学んでいる物理を発展させ応用すると、直接あのような人間に対する貢献ができることを実感した。
- ・「隅のトンガリ」という建築の最上部が柱を使わずに三つの三角形でできているところがおもしろかったです。また、独特なデザインが施されている家でシェアハウスをしているお話を聞いて、普通の家とは違う独自性があり生活が豊かになって楽しめそうだなと感じました。
- ・情報の匿名性を保護するために、データにどのくらいノイズを加えるのが適切か、安全性と正確性のバランスをどのように保っていくかという課題に、データ補正や評価媒体を用いて対応していることに興味を持った。個人情報を守り且つ正確で利用しやすい情報を提供するために、どのような考え方をういたらそれが保証されるのか、自分なりに考えてみたい。
- ・近年はAIや働き方改革などで医師の労働時間は減りつつあるが、救急件数が過去最高を更新し続ける今では、緊急手術などによる時間外労働が大きく減ることは少なくなっている現状がある。しかし、様々な議論を重ね、より多くの命を救うためにどうすればよいのかを話し合っていくことがこれからの医療分野に必要なことであり、私たちも考えるべき問題であると思った。